



発行日 4. 30
 発行 4. 30
 編集 岡崎市AVL集
 委員会 広報

「社会教育における放送利用」

本市ライブラリイに研究委嘱さる

昭和四十九年度愛知県視聴覚教育連絡協議会の社会教育部門における放送利用研究にあたり、当岡崎市視聴覚ライブラリイを拠点とする実践研究をとりあげて、特に婦人教育における放送利用について研究を委嘱されました。

岡崎市では、昨年度視聴覚ライブラリイの公立化にもなつて、社会教育部門での放送利用について、NHK教育放送「おかあさんの勉強室」一年生を一九九九年継続利用して、大変好評でした。その実践は「岡崎の視聴覚教育」誌第五号の放送利用（社会教育）に紹介されています。本年度は、これを一層拡充して、一年生の講座の他に二年生の講座と、お勤めをしていらつしやる婦人を対象にした講座を増設することにして、すでにスタートがきられました。研究成果を期待したいものです。

岡崎市小中学校視聴覚教育部研究組織が確立

部長、阿部俊房校長（三島小）
 副部長、滝口忠男校長は三教研副部長も兼任

昭和四十九年度岡崎市小中学校視聴覚教育部研究組織ができあがった。主な陣容は次の通りである。

部長	阿部 俊房（三島小長）
副	滝口 忠男（滝海中長） 稲垣 茂（常磐小長）
広報	委員長 牧野伊佐夫（福小）
副	柴田 正（六中小） 高瀬昭三（城北）
研修	委員長 小出 明（三島）
副	萩野森巧（蓮尺） 石川誠一（岩中）
機材	委員長 中根 洋（南中）
副	白井正荘（常小） 白井央一（竜中）
自作	委員長 加藤憲尚（美中）
副	岡田金二（美合） 岡田 宏（羽根）

校内放送研究会

七月二十六日

連尺小学校

市内全小中学校の放送部員（児童、生徒）各校二名と担当教師が参加して、校内放送の運営組織、番組内容、活動状況などの情報交換をします。

本年度は、自校の放送番組を収録したテープを持ち寄り、それを視聴しながら、より具体的な意見交換と、二期からの実践に結びつく、指導助言を受けます。外来講師は、瀬戸実業高校 竹橋義明先生

VTR講習会

連尺小学校

初級 八月六日（火） 携帯用ビデオコーダー（デンスケ）による自作教材の制作。1 デンスケの使い方、2 VTR教材の作り方。3 撮影実習と試写
中級 八月五、六日の二日間

カラーカメラと編集機を使つての自作教材制作、1 VTR教材の作り方 2 コンテ、シナリオ作り 3 撮影、編集、アフレコ実習、試写
外来講師は、ソニー社 遊井名田 勝氏

VTR講習会への参加者へお願い。

教材自作にあたって、コンテづくりをします。写真とか画とか図などを利用して映像づくりをしたい人は必要な資料を持参してください。

OHP講習会

八月十三日（火）

婦人会館

OHPの活用法とTP作りの実習を中心に、次のような内容で実施されます。1 OHPの構造と活用法、2 OHPの特性を生かした提示法。3 わたしの作ったTP、4 TPの作り方 5 TP製作実習 6 作品発表
参加される方は、TP作りの資料（二期期の授業で使えるものなど）と、用具（シートは用意しますが、ハサミ、カッター、定規、ペン等）をご持参下さい。

ライブラリー日より

教材。機材目録が完成しました。各学校へ二部ないし三部ずつ配布しました。ご利用ください。

昭和四十九年度購入教材フィルムの選定をすすめています。ことしからは、視聴覚教育研究員の先生方が中心になつて、プレス選考を終えて、十日に試写会をするこ

とになつていきます。
社会教育講座「おかあさんの勉強室」は、熱心な勉強
ぶりが認められて、十八、十九日両日東京で開かれる。
「くらしに生かす放送利用」研究大会で発表することに
なりました

四十九年度購入教材のうち十六ミリ映画の選定を八月
十日に婦人会館で試写会を行なつて、教材決定をしま
す。